



## 5.2 地域との連携・協働

美山川の優れた自然環境を保全・再生し、より良い状態にして未来に引き継いでいくためには、単に堰等の遡上改善や堆積土砂の除去、親水施設の整備を進めることだけで実現できるものではなく、流域を取り巻く様々な環境に係わる課題に対し、関係する行政と地域が連携・協働し、その課題解決に向けて取り組んでいかなければならない。

この地域では、これまでから「地域振興会」や「美山まちづくり委員会」等において、ホテルの生息場の創出のための環境整備や石けんの使用促進など、環境保全の先進的な活動が展開されているところであり、今回の「美山川・やすらぎの川づくり」が、さらなる美山川を守り育てる意識の高まりと主体的な取り組みの拡大への契機となり、ひいては、美山川の自然の恵みを活かしたまちづくりへとつながっていくことが期待される。

事業実施にあたっては、地域の「景観・環境保全プロジェクト」を中心とした環境保全活動と連携し、ワークショップによる実施計画づくり、地域との意見交換やシンポジウムの開催、子供たちによるみんなで川づくり（工事体験）や河川環境調査など、情報発信と計画、実施、管理の各段階における住民参加による川づくりに努めていくものとする。

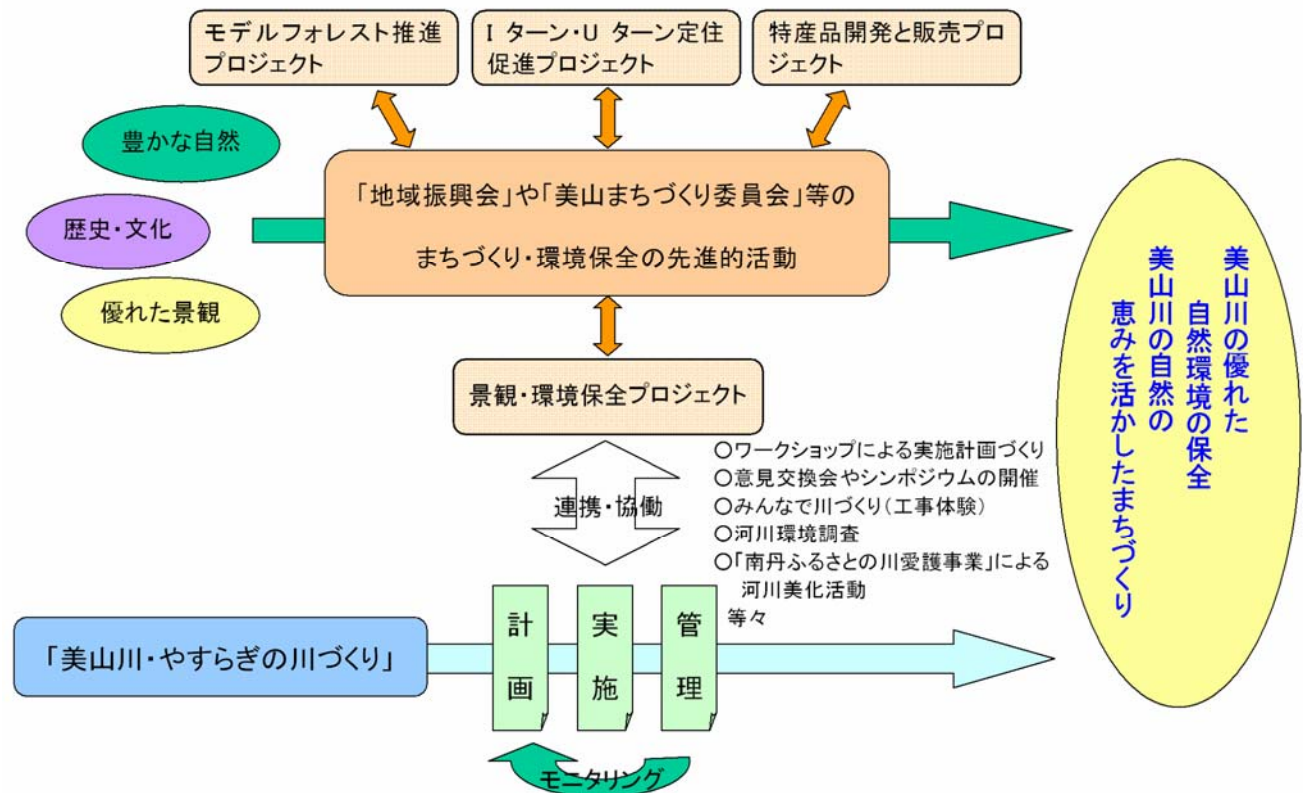


図 5.2.1 地域との連携・協働